

齊藤昭彦 著

『これでナットク らくらく合格  
PT・OT 国試一般問題対策／PT 専  
門問題対策スピード攻略ブック』

中屋久長

(高知リハビリテーション学院)

16 年 4 月現在、理学療法士(PT)養成校は 172 校で一学年定員 8,027 名、作業療法士(OT)養成校は 156 校で一学年定員 6,388 名である。双方ともにおよそ、大学が 20%、定員数で 15%、短期大学が 2.3%、定員数で 1.5%、4 年制専門学校が 33%、定員で 34%、3 年制専門学校が 44%、定員で 45%を占める。専門学校は学校数で全体の 77%、定員数で約 80%を占めている。14 年度国家試験の合格率は PT が 97.9%で過去最高の合格率、OT が 95.5%である。比較的新しい養成校特に専門学校の合格率が高い傾向にある。国家試験マニュアル本が近年多く発刊されそれなりの売れ行きを示している。学校数や定員数、学校種別から鑑みると当然の結果である。

個人的ではあるが基本的に「傾向と対策」「マニュアル」本は好みではない。ただ学生が間違っているものを発見し、正しく解答する作業でより力をつけるという場面もあって利用価値が高まっていることも事実である。本来なら指定規則、各校カリキュラムに沿って基本的な学習ができているとすれば国家試験は合格するとしたほうが理にかなっている。しかし、3～4 年という短い教育期間で PT、OT としての資質を養うこ

とは至難の事と考える。今、PT・OT として「原理原則に則って物事の本質を追求するカリキュラム、教育水準」が必要ではないかと考える。また国家試験問題も練習で合格するものであってはならないと思う。

齊藤昭彦著の本書はその様な点で今迄と一味違った切り口で構成されている。まずは「序説」「使い方」でこの本の発行主旨が述べられ、国家試験という「水物」に対する取り組み方、「試験勉強のあり方」、「データ」、「受験者のアンケート調査結果」、さらに「難易度」「解答」「解法のテクニック」「理解のための知識」、関連メモなど大変詳しく広い視点で解説を行っている。徹底した受験用の様相を呈している部分と 3～4 年間の学習を補う部分、著者が言う「国家試験の知識は、理学療法士になってからはほとんど使いません」とは裏腹に臨床や実習指導でも活用できる解説も多く採り入れている。マニュアル本といえども著者の PT・OT 教育に対する情熱・思想・哲学が入魂された力作と考える。

教育機関のあり方、教育養成も国家試験も「傾向と対策」「マニュアル」ばかりに頼らなくてよい教育水準やカリキュラムが構築される事を願っている。

『これでナットクらくらく合格 2005 PT・OT 国  
試一般問題対策 スピード攻略ブック』

A5 判、2 色刷、216 総頁、2004 年 9 月 29 日刊

『これでナットクらくらく合格 2005 PT 国試専門  
問題対策 スピード攻略ブック』

A5 判、2 色刷、214 総頁、2004 年 9 月 23 日刊

ともに定価(本体 4,500 円+税) 文光堂・刊